

# 令和5年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター

第7号 令和5年7月21日発行

TEL:0229-32-3115 FAX:0229-32-2225

http://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/



## 1. 気象経過

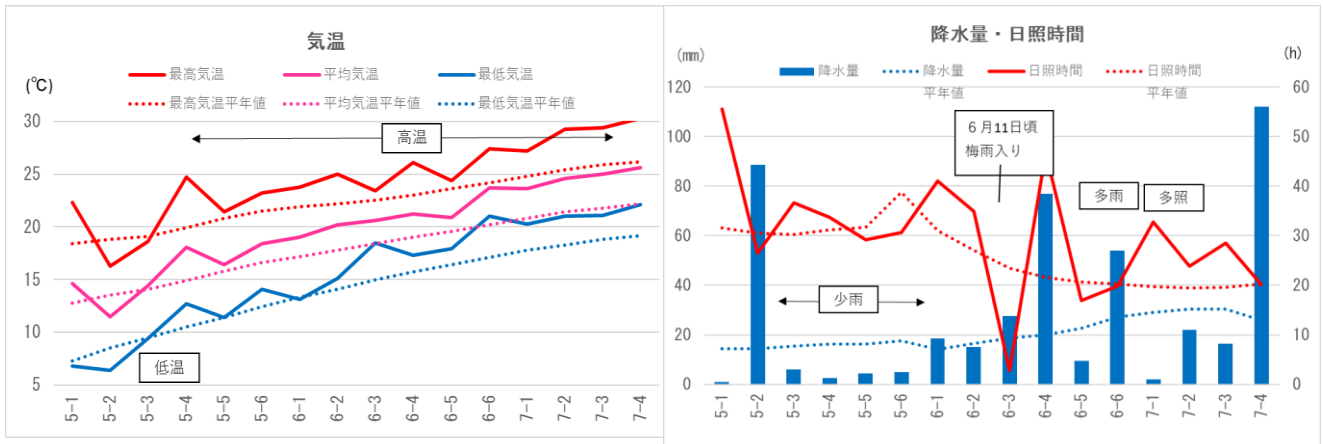


図1 半月別気象経過（鹿島台アメダス）

引き続き気温は高く、日照時間は長く、降水量は少なく推移していますが、7月19日には82.5mm/日の降雨がありました。

## 2. 管内生育調査ほの生育概況

・中生品種は7月中にも出穂の見込み。

調査地点	品種	区分	田植日	7月10日調査結果					7月20日調査結果					
				草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	幼穂長 (mm)	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	幼穂長 (mm)	
移植	涌谷 (小塚)	ひとめぼれ	本年値	5月9日	75.8	490.6	10.5	40.4	8.4	89.5	492.3	11.7	38.3	180.6
			前年比・差	+2日	111%	92%	▲0.5	110%	5.8	111%	88%	▲0.3	103%	118.8
			県平年比・差	-4日	122%	93%	▲0.4	100%	5.8	122%	99%	▲0.3	102%	127.8
	田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月4日	75.2	516.8	10.6	38.8	4.1	86.8	521.6	11.5	34.2	159.0
			前年比・差	-1日	102%	102%	▲0.5	102%	0.6	105%	100%	▲0.7	96%	136.4
			平年比・差	-5日	117%	127%	▲0.4	90%	2.0	115%	108%	▲0.5	85%	108.6
鹿島台 (広長)	ササニシキ	本年値	5月12日	70.9	586.0	10.7	36.6	2.5	82.7	455.9	12.0	33.2	124.6	
		前年比・差	-2日	103%	112%	▲0.6	95%	1.4	-	-	-	-	-	
		県平年比・差	+3日	118%	98%	0.0	95%	1.0	118%	82%	0.1	96%	86.0	
鹿島台 (木間塚)	だて正夢	本年値	5月21日	66.8	379.9	10.4	38.9	0.9	75.9	347.0	11.7	36.8	18.6	
		前年比・差	+6日	81%	75%	▲0.6	91%	0.2	84%	70%	▲0.4	93%	14.0	
		平年比・差	+6日	95%	82%	▲0.6	85%	0.4	93%	79%	▲0.4	88%	8.8	
南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月6日	59.5	513.2	11.2	35.2	1.0	81.8	407.2	12.4	31.4	23.8	
		前年比・差	±0日	125%	77%	▲0.3	87%	0.4	91%	77%	0.0	83%	17.2	
		平年比・差	+2日	117%	104%	▲0.4	88%	0.2	103%	88%	▲0.2	87%	4.0	
直播	小牛田 (荻塚)	ゆみあずさ 鉄コー	本年値	5月3日	59.5	411.8	9.4	34.6	1.0	81.9	423.2	10.6	33.6	4.4
前年比・差	-3日	125%	68%	▲0.9	91%	0.4	97%	66%	▲1.0	79%	2.2			

草丈：「だて正夢」を除き平年より長い。 葉色：平年より淡いほ場が多い。 葉数：平年より少ない。  
 茎数：「ひとめぼれ」を除き少なめ。  
 幼穂長：すべてのほ場で平年より進んでいる。

### 3. 今後の栽培管理

#### (1) 出穂期

表2 出穂期の予測値 (7月20日現在)

移植日	5月1日	5月5日	5月10日	5月15日	5月20日
予測値	7/20~25	7/23~27	7/25~29	7/27~31	7/31~8/5

※主稈葉齢予測モデル(普及に移す技術第80号)を用い、ひとめぼれの移植時葉齢を2.5葉~3.5葉として予測。

表2 および管内の田植盛期からは、出穂盛期は7月28~29日頃と予測されます(平年8月2日)。平年より早まる予測ですので、防除は早め早めに計画してください。

#### (2) 出穂後の水管理

**出穂前後は高温の予報です!水を絶対に切らさないでください!**

穂ばらみ期から出穂・開花期前後は、水の吸収量が最も多い時期です。この時期に水分が不足すると、幼穂の発育や開花受精が妨げられ、収量・品質に影響します。

本年は出穂期前後高温の予報です。出穂後、高温時の水管理は「昼間深水、夜間落水」が基本ですが、難しい場合は浅水で土壌の湿潤状態を保ち、常に稲が水を吸えるようにしてください。

常時深水は、水温が高くなると逆効果ですので避けてください。



左図: 7月20日発表の  
2週間気温予報

高温でなければ、出穂後10日間程度浅水管理とし、その後は登熟後期まで根の活力を維持するため、「間断かん水」や「飽水管理」を行いましょ。また、落水は出穂後30日以降に行うと品質が向上します(普及に移す技術第91号)。

#### (3) 病虫害防除

##### 1) いもち病

7月は1、9、16日に、管内で感染好適条件が出現しています。(BLASTAMによる推定)。

いもち病は感染すると1~2週間で病斑の発生が広がります。また、追肥後は一時的に稲体の窒素濃度が高まり、いもち病に対する抵抗力が弱まります。穂いもちの予防防除を行なっていないほ場や、金のいぶき、萌えみのり等、いもち病に弱い品種で病斑の発生を確認した場合は、発生状況により防除を検討しましょう。

**上位葉の葉いもちが穂いもちの発生源になります。**

茎葉散布剤による穂いもちの防除は、1回目を出穂直前に、2回目を穂揃期に行います。

葉いもちの発生が多く、穂いもちの多発する恐れがある場合や出穂期間が長引く場合には、3回目を穂揃期の7~10日後に実施しましょう。防除にあたっては、病虫害防除所の防除情報(<http://www.pref.miyagi.jp/documents/45756/r05bojono02.pdf>)などを参考としてください。

## 2) 斑点米カメムシ類

### 【水田の管理】

水田畦畔の草刈りは水稻の出穂 10 日前までに行いましょう。



図2 アサジカスミカメの成虫

### 【水田の薬剤防除】

- ① 基本の防除体系：1 回目は穂揃期、2 回目は穂揃期の 7~10 日後に実施しましょう。
- ② イヌホタルイ発生水田の場合：1 回目の防除時期を早めましょう。1 回目は出穂始~穂揃期に、2 回目は穂揃期の 7~10 日後に実施しましょう。

## 3) 紋枯病

高温多湿は発生を助長します。紋枯病は登熟不良、倒伏の原因にもなるので、多発が予想されるほ場では、穂ばらみ期~出穂期に薬剤による防除を行いましょう。

○要防除水準（収量が 5%以上の減収を想定して防除する場合）

穂ばらみ期の発病株率が「ひとめぼれ」 18%、「ササニシキ」 10%

## 4) イネツトムシ（イチモンジセセリ）

直播栽培など一般ほ場より生育ステージが遅く、葉色が濃いと被害が大きい傾向があります。

○防除適期：第 2 世代若齢幼虫発生盛期（7 月下旬~8 月上旬）

株当たり 0.5 個以上のツトが見られる場合

※気がついた時には、殺虫剤の効果が出にくい中齢~老齢幼虫になっていることがあります。  
若齢幼虫の形成するツトを見逃さないように！



図3 (左) 幼虫が葉を寄せた「つと」 (中) 成虫(体長約 2cm) (右) 黒い頭が特徴の幼虫

## 熱中症対策強化期間（5月1日～9月30日）

- ① 高温時の作業は避けましょう
- ② 単独作業は避けましょう
- ③ 休憩&水分補給しましょう

暑い中での作業が避けられないときは、体を冷やすアイテム(ファン付き作業着やネッククーラー)や万が一に備えるための保冷剤などの準備を

~無事に家に帰るまでが農作業です。